

2010年は、952mのショートコースで開催！
メタボが気になるお父さん！ ダイエットに挑戦中のお嬢さんやお母さん！ 部活で体力づくり中の学生さん！
スポーツランドSUGO 西コースから、からだど地球に優しい！ エコイベントの提案です。
あなたも休日のアスリートになってみませんか？

1. SUGO ママチャリ憲法(約束ごと) 基本編

◆其の1 参加資格

1) 補助輪なしの自転車を安全に元気に運転できる方。

* 良い子(小学生以下)の参加大歓迎。

小・中学生は、監督として大人1名の帯同を義務付け。

* 良い子が参加する場合は体格に合った子供車で、ご希望により大人の伴走も可能です。

2) 性別や年齢による制限はありません。

* ただし未成年者は、保護者(親権者)の同意書が必要です。

3) 本大会の趣旨を理解し、一日楽しい気持ちでエンジョイできる方。

4) ルールやマナーを守れる方。

5) 女性やお子様選手連、また自分よりスピードの遅い選手に思いやりの気持ちを持てる方。

6) 健脚自慢のホビー(素人)レーサー大歓迎！

* でも、プロ選手(競輪や実業団チーム員)や、技量の超高い上級者はファンキーエンデュロの方に出て下さいね。

7) 大会が終わって家に帰るまで、お酒やビールを我慢できる自動車を運転される方。

* レースでは飲酒運転は厳禁です。またレース終了後も、自動車を運転される方は飲酒を我慢して下さいね。

そう..... はやい話
誰でも参加できるんです！

◆其の2 走行時の着具と服装

せっかくのイベントも、深刻な怪我をしてしまったら？.. 楽しさなどここに吹き飛ばしてしまいます。
万一の転倒の際、体へのダメージを最小限に食い止められるよう、自分自身で十分な備えをしましょう！

1) アゴひもの付いているヘルメット(工事中でも可)をかぶり、グローブ(軍手でも可)を装着すること。

2) 服装は、万一の転倒に備え、腕や脚の肌が直接露出する(半袖・半ズボンのみ)ものではないこと。

3) 履物は、サンダルや下駄等、脱げ易いものではないこと。

* 運動に適した靴(スニーカーやウォーキングシューズ等)の使用を推奨します。

4) お子様の走行は、膝と肘のプロテクター(パッド)装着厳守となります。

★ お子様以外の参加者にも、膝や肘のプロテクター(パッド)着用を強くお奨めします。

5) 空気の澄んだ季節です。女性の皆様は日焼け予防も忘れずに！

参加者の皆様の
安全のために！

◆其の3 予選レース(参加申し込み)

◆参加申し込みが予選レースです！すでに熱い戦いが始まっています。

◆参加申込順(やる気順)がそのまま予選順位です。

* Web申込での1番最初のチームには、ポールポジション賞を贈呈。

* 予選レース(参加申込)の結果は、あくまでもポールポジション賞の選定であり、決勝レースには反映されません。

ポールポジション賞
GETは

◆其の4 運営面について

レース運営のプロ集団・SUGOスタッフによる万全なサポート体制に加え、レースでも使用している計測システムを駆使し
オートバイレースや自動車レース同様の公式リザルトも1時間経過毎とレース最終結果として発行されます。

(1) パドックエリアを
デイ・キャンプ場として開放

◆参加チームは、パドックエリアでバーベキューや、いも煮も楽しめます。

* 災害に備えて水などの消防用水をご用意ください。

* 地球にやさしいエコイベントです。ゴミは各自でお持ち帰り下さいね。

(2) 更衣室を完備

◆男女更衣室・シャワールームを完備(スペースはあまり...)

着替え等にご利用下さい。

* ロッカールームではありませんので、着替後の洋服や荷物をご自分のビットボックスにお持ち下さい。

あくまでも着替えのための部屋です。放置された荷物の遺失には責任を持ちかねますことをご了承下さい。

(3) エイドステーション設置

◆ママチャリエンデュロ第1戦・第2戦でのエイドステーションは設置しません。

* ツラくなったらあまり無理をせず、休憩をとったり細めな水分補給をされることをお奨めします。

* エイドステーションの設置場所は追ってご案内します。

(4) 万全の救急体制

◆メディカルセンターは看護師待機で、万一の負傷にも万全の体制！もちろん救急車も配備しています。

2. SUGO ママチャリ憲法(約束ごと) 車両規則編

私の自転車は出られるの?

そんなあなたの強〜い味方

お悩み一発解消!

車両規則 とらの巻

◆其の1 参加車両は、“ママチャリの勇姿”を保った状態であること!

このレースは、参加者の皆様のナマーやモラルが超重要です! 参加車両の選考には十分ご注意ください。心配な方は参加車両の写真を事務局へ添付送信頂ければ事務局で判断のうえ回答いたします。

また「ママチャリではない!」と事務局が判断した車両に関しては、そのチームは「賞典外」や「参加をご遠慮いただく」こともあり得ます。

1) お財布にやさしい! 「お求めやすい価格で無改造のお買いものや通学用自転車」であること。

* メーカーから量産市販されている無改造の一般市販品限定です。自作/オーダーメイド/受注生産等の値段のお高いスペシャルな自転車は参加出来ませんのでご注意ください。

2) 前カゴが装着されていること!

* カゴの材質(プラスチック/鉄/アルミ/藤等)は問いませんが、常識的に買い物や通学に耐えるもので、車体にしっかりと固定されていること。前カゴの大きさの目安(容積)は、最低でも 1.5リットルのペットボトルが4本入るくらいです。

いること。(百円ショップ等で買った、小さな樹脂製バスケットをテープで止めたようなものは認められませんのでご注意下さい。)

3) フレーム(車体の基本骨格)は、メインのチューブがクランク軸に近い低い位置にあり、スカート覆いた女性が、サドルの前側から安易にまたぐことが出来る **ミキスト型**の形状であること。

* 上記の基本骨格であれば、フレームの素材(鉄/アルミ)と、メインチューブの本数(シングル or ダブル)や形状(直線 or 湾曲)は問いません。

* 同じミキスト型フレームでも、ツーリングやレース用のスポーツサイクルは認められませんのでご注意ください。

* サスペンションの有無は問いません。

* 駆動方式(チェーン/ベルト/シャフト)は問いません。

4) 前後とも、フェンダー(泥除け)が装着されていること。

* フェンダー(泥除け)の材質は問いませんが、車体に“ネジでしっかりと”固定されていること。

5) 車輪は27インチ以下で、タイヤは幅が約 32mm (1と3/8インチ)以上で、溝があるシティサイクル用であること。

* 700Cのスポーツサイクル用極細ホイールやタイヤの使用は認められません。

6) 変速機付きの場合は、8段以下であること。

* オートマチック インター3付きママチャリは参加可能です。

7) 前後共、ブレーキを装備していること。

* 前後共、ブレーキの形状(キャリパー型~バンド型)は問いませんが、安全上、確実な制動が可能なものであること。

8) ハンドル

* ママチャリや通学用自転車に標準装備されている形状のハンドルであること。

* ハンドルバーのグリップ(握り)部分の高さが、サドルの上面よりも高いこと。ドロップハンドルや、トライスロン用のDHハンドルは使用できません。

* ハンドルの材質(鉄/アルミ)は問いません。

9) スタンドは取り外し自由。

* スタンドの形状がサイドスタンド(1本式)の場合は、安全確保のため、必ず取り外すこと。ただし両立式の場合はそのままでも出場可です。

10) 前かごには、ゼッケンを表示すること。

* ゼッケン番号は、エントリー受付後に大会事務局からご案内します。

* ゼッケン(番号)は、レース当日の受付時に主催者から配布します。ゼッケンは、前カゴの前面にしっかりと貼り付けて下さい。

11) 計測用発信器を装着すること。

* レース当日の受付時に、大会事務局から自動計測用の軽量小型の発信器(トランスポンダ)を配布します。すべての参加車両には、この発信器をしっかりと装着して頂きます。(装着位置や取り付け要領等の説明書は、受付時に発信器と一緒に配布します。)

◆其の2 車両には、速く走るための改造や部品交換をしてはならない!

1) おしりにやさしい ポツテリ型のサドルであること。

* スポーツサイクル用の超軽量~超薄型の高価なレーシングサドルの使用は認められません。

* シートポスト(サドルを取り付けるためのパイプ)の交換は可能、交換するシートポストは自転車専用部品であれば、素材は問いません。

ただし、サドルの天面が、ハンドルのグリップ位置よりも下であることが条件です。

2) ペダルは、フラットペダル(平ペダル)であること。

* 足(靴)をペダルに固定するピンディングやトゥクリップ&ストラップは使用できません。楽しいママチャリレースです。安全第一!

3) 装飾(もちろん仮装も!)は、大歓迎です!

* でも装飾物の取り付けはしっかりと確実に! 万一 装飾物がコース上に落下するとレースの安全性が損なわれます。

◆其の3 車両使用に関する約束ごと!

1) スペア車

レース用自転車が、万一の故障で走行不能や走行困難な状態になった時、1台のスペア車の使用が認められます。

* スペア車も、車両規則はレース本番車と同様です。

2) 子供用自転車

小学生以下の良い子が走行する場合は、安全のため、良い子専用の子供車を使用しなければならない。

* よい子供車については、車両規定はありませんが、ゼッケンの表示と計測機の取り付けが義務付けられます。

計測機は1チームに1個ですので、付け替え作業時間を、チームのレース戦略に織り込んでおいて下さい。

3) 電動アシスト自転車

ママチャリ エンデューロは、人力に限定したイベントのため残念ながら参加出来ません。